

位置指定道路技術基準

松本市建築指導課

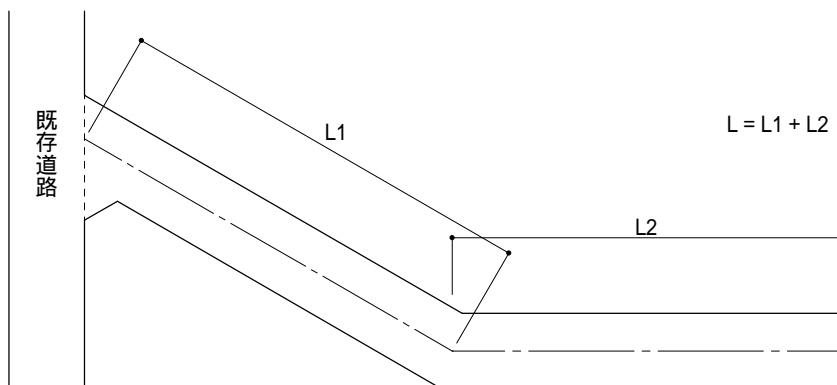
指定道路の構造基準（令第144条の4）

	<p>両端が法第42条道路に接続する場合</p>	<p>幅員 4 m</p>
<p>幅員、延長などの条件</p>	<p>袋路状道路の場合</p>	<p>次の ~ のいずれかに該当すること。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="502 548 933 817"> <p>幅員4m以上6m未満の場合 35m</p> <p>既存道路の幅員が6m未満の袋路状道路の場合、その道路の起点から 35mであること。</p> </div> <div data-bbox="997 548 1396 817"> <p>幅員4m以上6m未満の場合 ↑ 終端</p> <p>公園、広場などで自動車の転回に支障がないものに接続していること。</p> </div> </div>
		<p>> 35mの場合 幅員4m以上6m未満の場合 35m 35m 35m 終端</p> <p>昭和45年建告第183号に適合する自動車の転回広場</p> <p>既存道路の幅員が6m未満の袋路状道路の場合、その道路の起点から 35mであること。</p>
		<p>幅員6m以上の場合 任意</p> <p>から までに準ずる場合で、特定行政庁が周囲の状況により避難及び通行の安全上支障がないと認めた場合</p>
<p>交差点、接続部、屈曲部の隅切り</p>	<p>隅切り (二等辺三角形) 隅切り (二等辺三角形)</p> <p>隅切り (二等辺三角形) 120°以上 隅切り不要</p>	
<p>表面の仕上げ</p>	<p>砂利敷その他ぬかるみとならない構造とすること。</p>	
<p>縦断勾配</p>	<p>1 2 %以下であり、かつ、階段状でないこと。</p>	
<p>排水施設</p>	<p>道路及びこれに接する敷地内の排水に必要な側溝などを設けること。</p>	

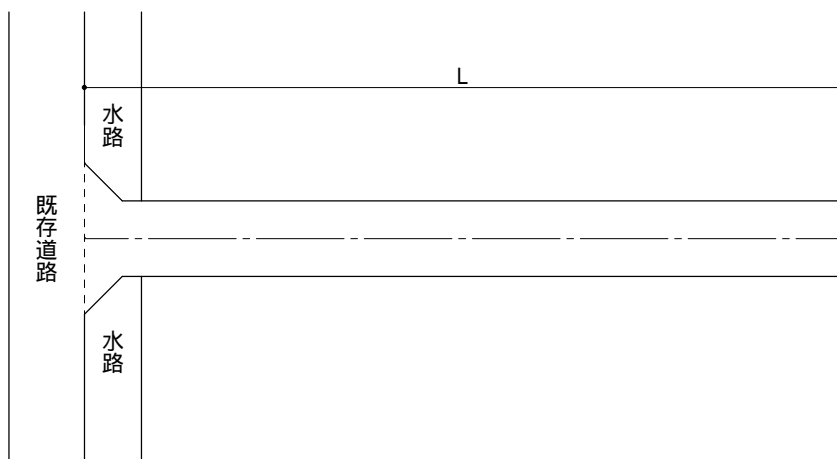
技術基準

1 指定道路の長さ (L)

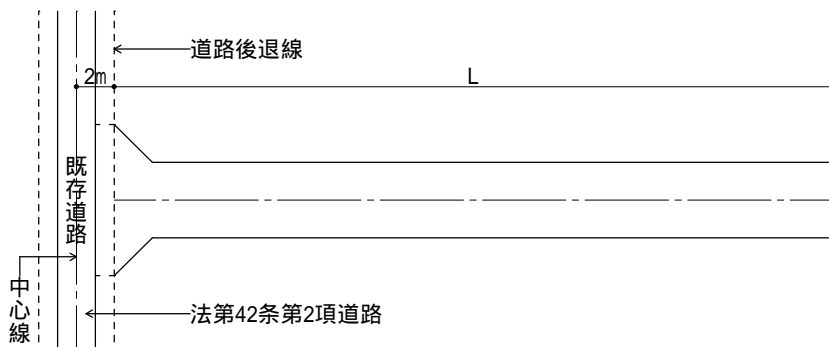
(1) 指定道路の長さは、道路の中心線の長さとする。



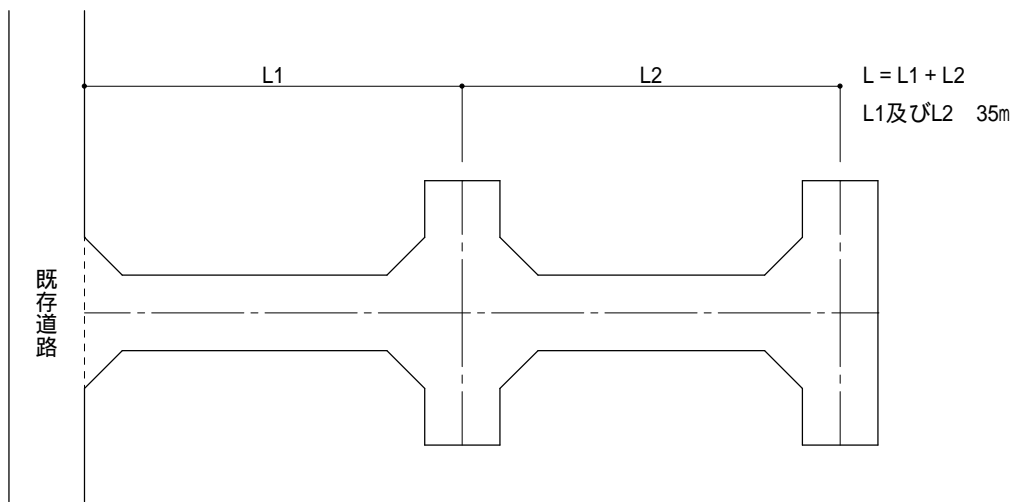
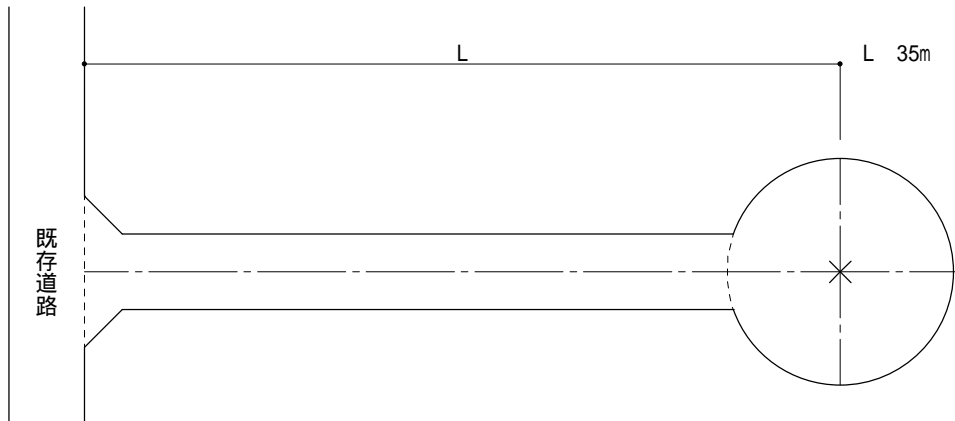
(2) 水路等を含む場合の指定道路の長さは、水路等を含むものとする。



(3) 法第42条第2項道路に接する指定道路の長さは、道路の中心線から2mの道路後退線から測るものとする。

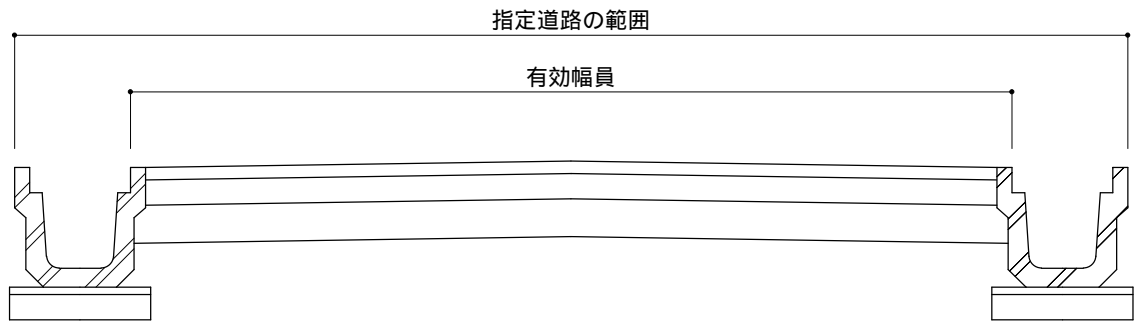


(4) 転回広場がある場合の指定道路の長さは、転回広場の中心までの長さとする。

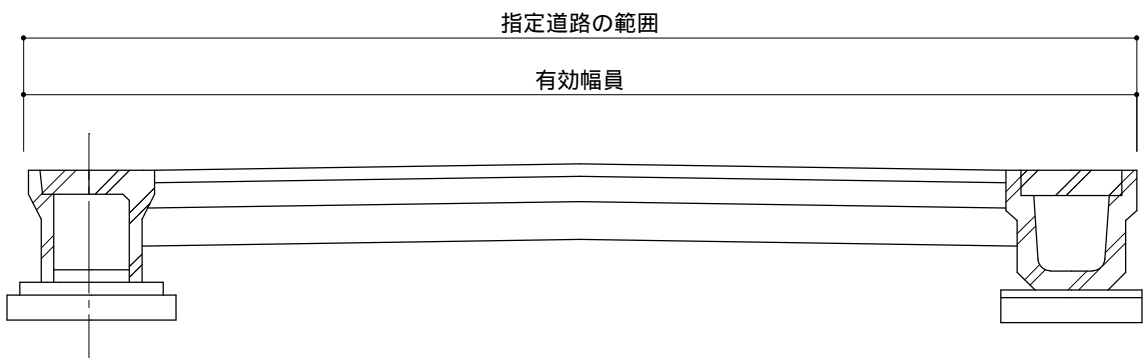


2 指定道路の幅員

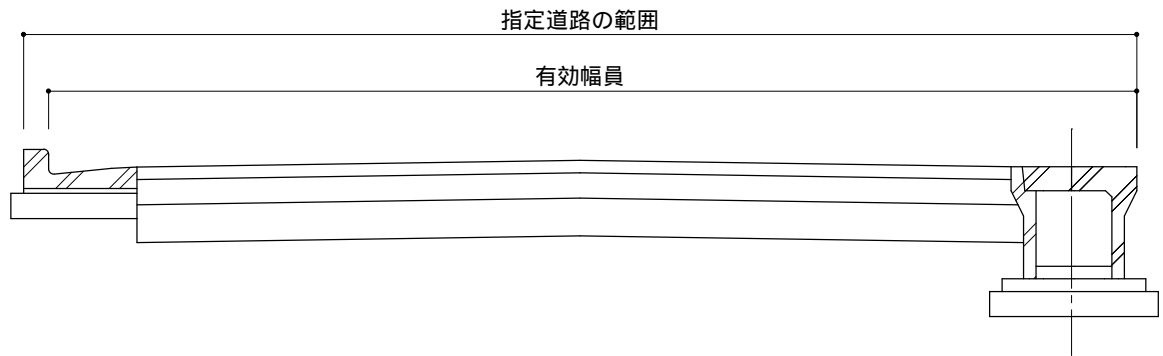
(1)



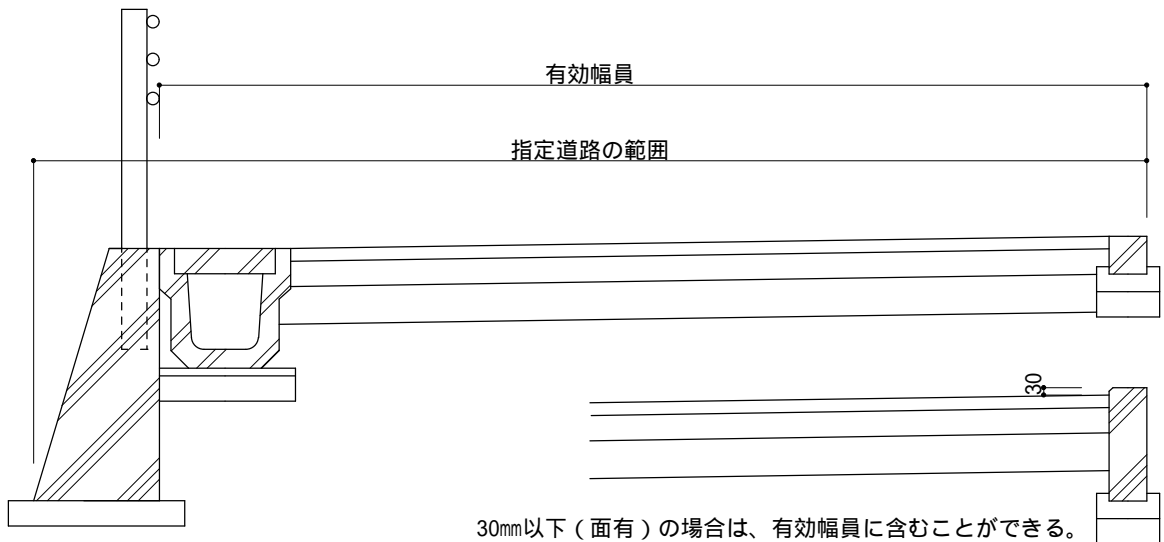
(2)



(3)



(4)

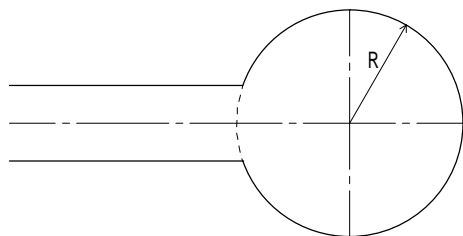


30mm以下（面有）の場合は、有効幅員に含むことができる。

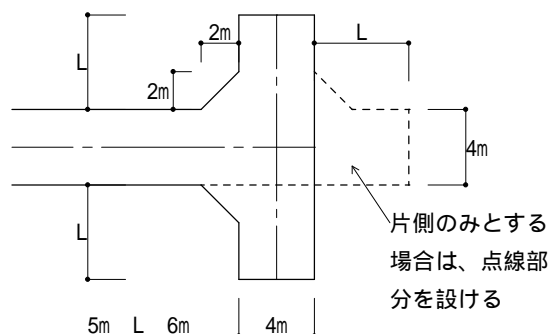
3 転回広場

転回広場は、側溝又は縁石等の構造物を用いて表示する。

(1) 終端の転回広場

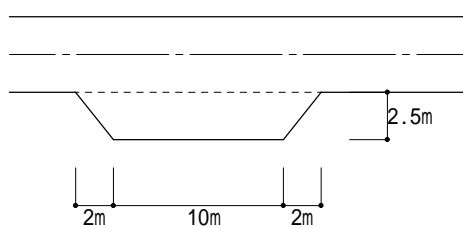
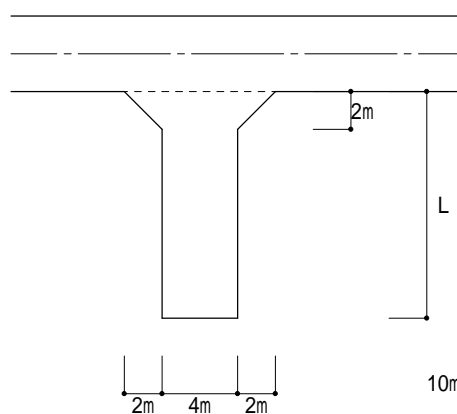
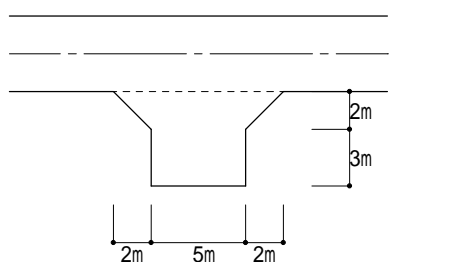


R (半径) = 6m

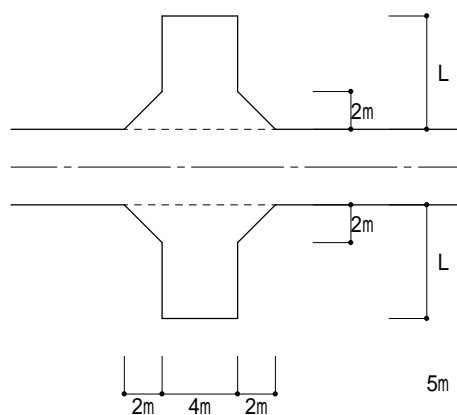
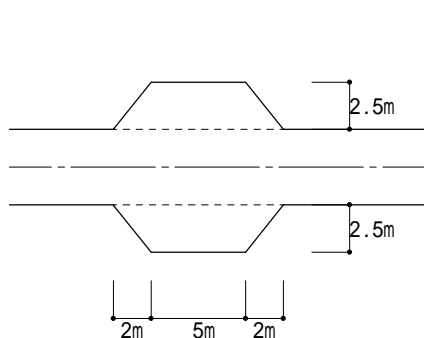


(2) 中間の転回広場

ア 片側に設ける場合

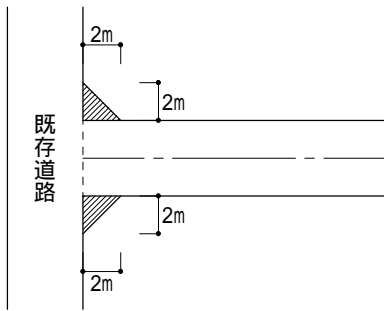


イ 両側に設ける場合

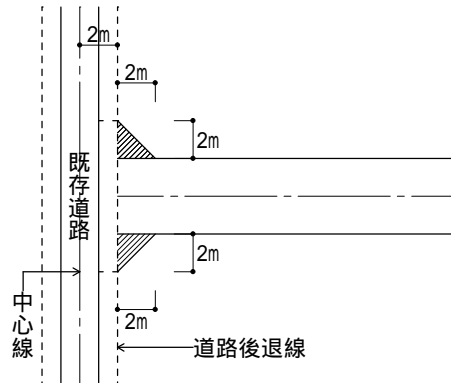


4 隅切り

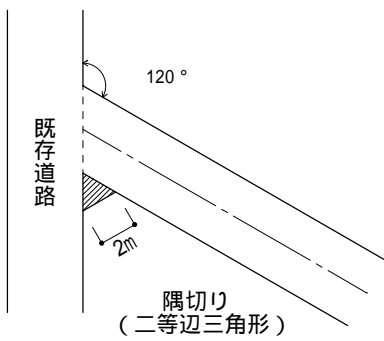
(1)



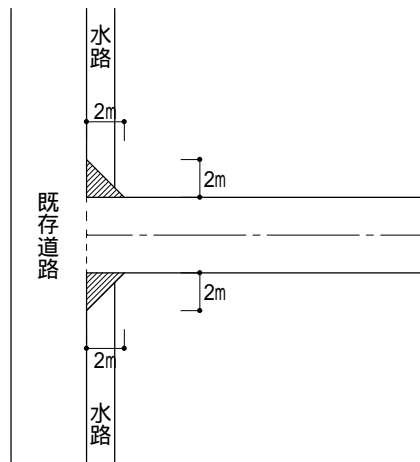
(2) 法第42条第2項道路の場合



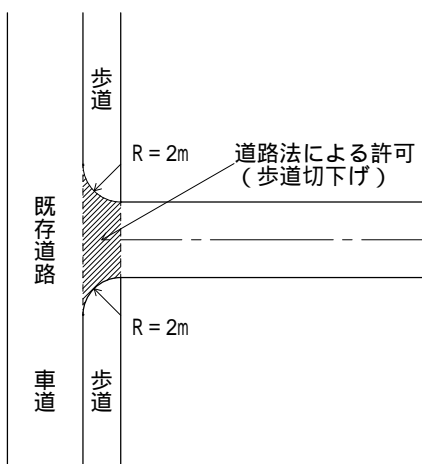
(3) 鋭角部分の場合



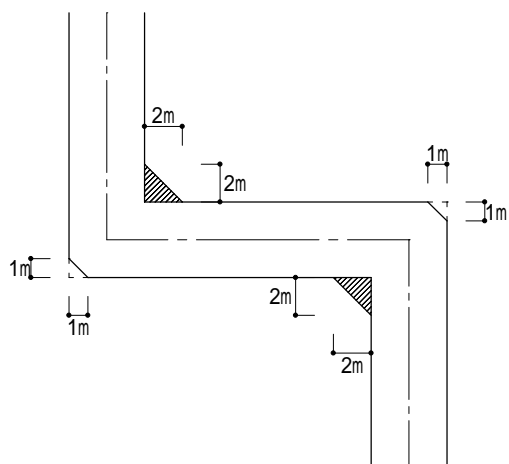
(4) 水路等がある場合



(5) 歩道がある場合



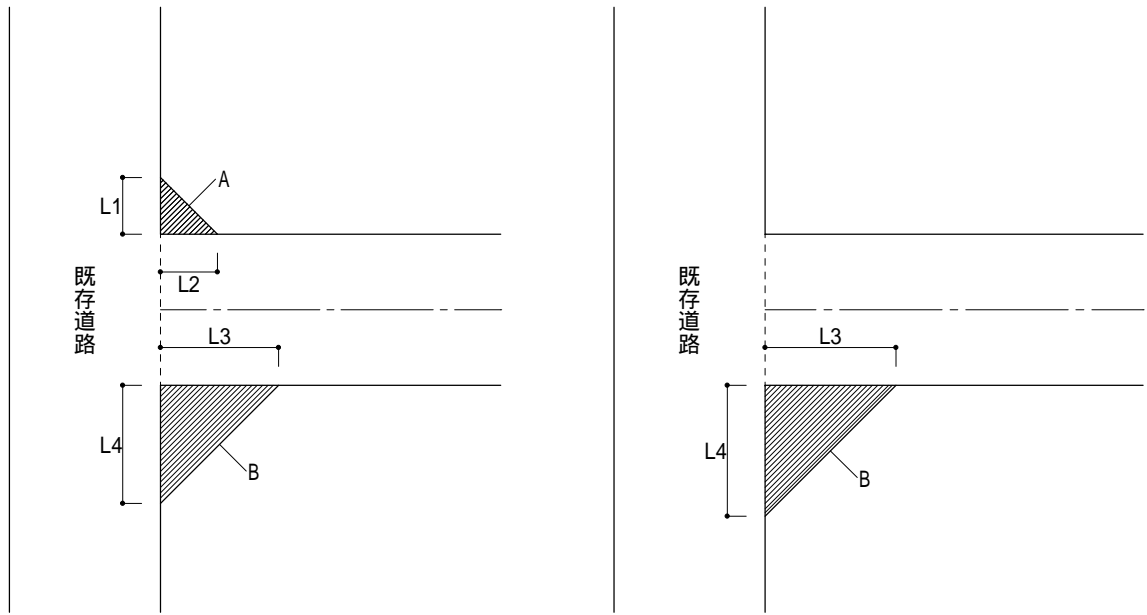
(6) 途中で屈曲する場合



(注) 既設道路の管理者が承諾する範囲とすることができる。(自営工事)

(注) 出隅部分の隅切りは省略することができる。

(7) どちらか一方の角地の隅切り部分が2m以上とれない場合



A : 隅切りを2m以上とれない部分の面積

B : 隅切りを条件に合わせることが可能な部分の面積

$$L1 = L2$$

$$3m \quad L3 \quad 4m$$

$$3m \quad L4 \quad 4m$$

$$A + B \quad 6m^2$$

(8) 特殊な取扱いをする場合

